

# 手軽に設置できる屋内用誘導マットで パラスポーツ大会をサポート

ゴム製品の製造企業、錦城護謨(きんじょうごむ)。同社製品であるゴム製の屋内用誘導マット「HODOHKUN Guideway(歩導くん ガイドウェイ)」は、凹凸がなくつまずきにくい上に手軽に設置できるため、パラスポーツ大会などのイベントに提供し好評である。ブラインドテニスなど視覚障がい者スポーツ支援にも力を入れている。



錦城護謨株式会社

錦城護謨株式会社  
KINJO RUBBER CO., LTD.



体験会・講習会



協賛

## 企業情報

錦城護謨株式会社 東京支社

【担当部署】ソーシャルイノベーション事業本部  
バリアフリー推進課

【所属人数】11名

【住所】東京都港区芝大門2-12-9  
(HF浜松町ビルディング)

【電話】03-3433-2631

【URL】http://www.kinjogomu.jp/



## 手軽に設置できる誘導マットで パラスポーツ大会をサポート



ゴム製屋内用誘導マット

同社のゴム製屋内用誘導マット(30センチ角)は、誘導ブロックのような凹凸がなく、製品周囲はスロープ形状になっており、床面との段差がほとんどない。そのため、視覚障がい者は、白杖で叩く際の音や踏んだ感触の違い、明度差などで床面と誘導マットの違いを理解する。また、高齢者、ベビーカーや車いす、ヒールのあ

る靴でも無理なく通ることが可能である。

さらに、設置の手軽さも画期的。

誘導マットを必要な分だけつなぎ合わせて、両面テープで貼り付けるだけなので、本格的な工事をせず屋内をバリアフリー化できる。また、撤去もはがすだけと簡単なので、大会やイベントなど一時的に使いたいときにも便利である。

この特徴を活かして、視覚障がい者が数多く参加するパラスポーツ大会の会場に、誘導マットを提供。同社社員が現地を訪れ、設置と撤去を行っている。2017年からは日本ブラインドテニス連盟を協賛企業としてサポート。大会会場では、競技紹介のリーフレットや動画も制作。ブラインドテニス競技のPRを行っている。



ブラインドテニス競技を紹介するリーフレット

また、2021年4月には、一般社団法人日本ゴールボール協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結した。

## 社内のバリアフリーの意識も製品も、さらなる進化を目指す

同社の誘導マットはすでに国内外で高く評価されていて、国内の盲学校をはじめ、スポーツ施設や病院、大学、図書館、金融機関など約1000か所で利用されている。



HODOHKUN Guideway

## 豊富なカラーバリエーション

近年、バリアフリーやユニバーサルデザインへの関心が高まっていることもあり、注目度はさらに上昇中である。

誘導マットの設置作業の際、ボランティアの方たちと一緒に視覚障がいの方のサポートをすることがあるので、ソーシャルイノベーション本部の、バリアフリー推進課のスタッフは全員、ユニバーサルマナー検定を受講し、事前に障がいのある方への接し方を学んでいる。

福祉分野に関心が高い同社社長の思いもあり、同社では今後、ユニバーサルマナー検定の受講を全社に広げていきたいと考えている。

「パラスポーツやバリアフリーへの関心を高めるためには、実際にパラスポーツを見たり、障がいのある方と接するのが一番いいと思っています。そのためにも、まずはパラスポーツの観戦会ができるといいね、なんて話しています。」(ソーシャルイノベーション事業部の横内氏) また、誘導マットについてもさらなる進化を目指し、挑戦を続けている。

「すべての方にとって便利な誘導路となるよう、熱癒着シールで行き先などをピクトグラムや文字で表示できるようにしてはいるのですが、誘導マットは視覚障がい者専用とのイメージがあるのか、予算が取りにくい

との相談を受けることがあります。そこで、AIやサイネージを組み合わせることで空間の価値を高めるような誘導路の開発を急ピッチで進めています。」(同部署の阿部氏)



(左)阿部氏 (右)横内氏

さらに、今後は新たな視覚障がい者スポーツの支援も検討中である。

「まだ広く知られていないパラスポーツがたくさんあるので、今後は、ブラインドテニスの支援を続けつつ、さらに別の競技団体もサポートしていけたらと考えています。」(阿部氏)

障がいが多様なら、障がいのある方が楽しむスポーツもまた多様。だれもが自分にぴったりのスポーツを見つけ、気軽に楽しめる社会を実現するには、錦城護謨のように細やかなところにまで目配りができる企業の存在とそのサポートが大きな力を発揮するのは間違いなだろう。

## 今後の取組について

2021年4月に、一般社団法人日本ゴールボール協会様とオフィシャルサプライヤー契約を結びました。今後も、各種パラスポーツ大会に、誘導路を提供すると共に設置・協力を継続的に行っていきます。また、SNSを通じて社内外にパラスポーツの魅力を開発してまいります。